2020年4月7日作成　第5版

2012年4月1日から2019年2月15日までの間に
川崎医科大学救急医学教室にて実習を行い、救急車同乗実習を行った方へ

課題名「医学部学生に対する救急車同乗実習の効果検証」へのご協力のお願い

研究責任者　川崎医科大学救急医学　准教授　井上　貴博
研究分担者　川崎医科大学救急医学　特任教授　椎野　泰和
川崎医科大学救急医学　准教授　宮本　聡美
川崎医科大学救急医学　講師　高橋　治郎
川崎医科大学救急医学　講師　山田　祥子
川崎医科大学救急医学　講師　木下　公久
川崎医科大学救急医学　臨床助教　上野　太輔
川崎医科大学救急医学　臨床助教　稲吉　祐樹
川崎医科大学救急医学　臨床助教　岡根　尭弘

1、研究の概要

川崎医科大学における救急医学臨床実習で行なっている救急車同乗実習では救急車に帯同し，救急隊の現場活動や傷病者の救急搬送，地域の救急医療体制について学びます。実習は，患者と接する機会が多く，座学で得た知識が臨床での診療に結びつく架け橋となっています。実習終了後には救急車同乗実習報告書とアンケートの提出を義務づけており、学生の臨床実習に対する満足度や要望などを聴取してきました。提出された救急車同乗実習報告書とアンケートから出動回数、出動理由、疾患、内容を検証し、救急車同乗実習を通じ学生がどのような感想を持ち、その後の学生の医師になるという自覚や医学に対する熱意などにどのように影響したか、救急車同乗実習の教育効果を検証します。

2、研究の方法

1）研究対象：2012年4月1日から2019年2月15日までの間に倉敷消防署もしくは総社消防署にて救急車同乗実習を行った川崎医科大学学生4、5年生（約700人）が実習後に作成した救急車同乗実習報告書とアンケートを対象とします。

2）研究期間：2019 年 2 月 28 日　～　西暦 2022 年 3 月 31 日

3）研究方法

対象期間に実習した学生が作成した救急車同乗実習報告書とアンケートから救急車出動回数、出動理由、疾患、内容を検証し、出動回数や経験した症例、症例から感じたことなどを調査します。また救急車同乗実習を通じ学生がどのような感想を持ち、その後の学生の医師になるという自覚や医学に対する熱意などに影響したかどうか、影響あればその具体的な内容、救急車同乗実習の教育効果があるかどうか、またその具体的な内容を検証します。また実際に出動した時間帯や回数から実習時間や実習先消防署、実習内容の見直しを行います。

4）使用する情報の種類

学生の性別、実習した消防署名、救急車出動回数、出動理由、疾患、内容　等

研究は報告書やアンケートから情報を収集する観察研究であり、作成者の個人情報を抹消した状態で分析します。従って作成者の個人情報が外部に漏れる心配はありません。またアンケートはもともと無記名で行なっております。また、希望があれば本研究の対象となる方のご自身のデータ使用を拒否することができます。

5）情報の保存

この研究に使用した情報は研究の中止または論文等の発表から５年間、川崎医科大学救急医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で抑制されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の試料等を閲覧または入手することができますのでお申し出ください。この研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申し出ください。この場合も教育や診療などにおいて対象者に不利益が生じる

ことはありません。

問い合わせ・連絡先
川崎医科大学救急医学教室　井上貴博
電話：086-462-1111　内線 25511（平日 9:00～17:00）FAX：086-463-1111

３、資金と利益相反

本研究は、研究資金を必要としていません。この研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。